

かざみどり研究会（かざみどりstudygroup）

「かざみどり研究会」は、福祉に関して研究していく会です。
さまざまな福祉に関わる人たちが、その立場で日々考えていることを、テーマに沿って話し合い、
新しい福祉の考え方を発見していく、日々の実践による研究会です。
2025年 K-studygroup

【主なコース】

1. 相談支援専門員研究会（SK-SG）…相談支援専門員による、かざみどりstudygroup
2. サービス管理責任者研究会（BK-SG）…サービス管理責任者による、かざみどりstudygroup
3. 児童発達支援管理責任者研究会（JK-SG）…児童発達支援管理責任者による、かざみどりstudygroup
4. 福祉従事者研究会（FK-SG）…福祉に関わる職員（スタッフ）による、かざみどりstudygroup
5. 地域福祉研究会（TK-SG）…地域での福祉を考える人たちによる、かざみどりstudygroup
6. なんでも研究会（NK-SG）…サロンとしてなんでも話し合う場

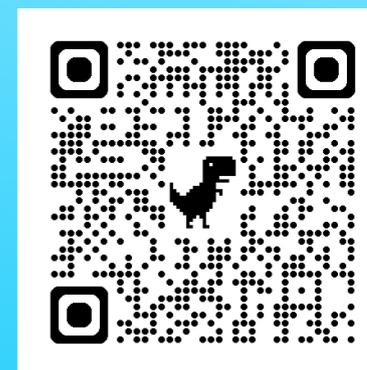
【開催日時（ZOOM開催）】（参加できなかった回も、後日アーカイブ視聴可能です。）

開催日：2か月に1回
開催時間：19時30分～21時00分（19時15分くらいから参加可能）

【参加費用】

各研究会 1回の参加費 1,000円
各研究会それぞれ 2か月に1回の開催で年間6回
（年間参加費用一括払いの場合 5,000円←1回分お得です）

【お申込み連絡先】
QRコード
はこちら



【定員】 10名（5名以上で開催）

1. 相談支援専門員研究会

平成24年から制度化された相談支援専門員。制度化から10年以上がたち、相談支援専門員という立場が認知されてきましたが、これからの時代に相談支援専門員としてどのような視点が必要なのか？個別支援の質と地域支援の質をどのように上げていけばいいのか？本来求められる相談支援専門員とは？

〈4月・6月・8月・10月・12月・2月開催〉

〈予定内容〉障がい者ケアマネジメントプロセスを考える
アセスメントを深める
プランニングの技術を考える
担当者会議について考える
モニタリングの質を考える
エバリュエーションについて考える
地域づくりについて考える などなど

2. サービス管理責任者研究会

平成18年から制度化されたサービス管理責任者。さまざまな事業形態はありますが、この研究会ではサービス管理責任者としての業務とその目指すべきものについて研究していきます。

〈5月・7月・9月・11月・1月・3月開催〉

〈予定内容〉7つのセクションについて考える
サービス管理責任者の業務について考える
人材育成について考える
組織創りにちて考える
ニーズ整理について考える
地域連携について考える などなど

3. 児童発達支援管理責任者研究会

平成24年から制度化された児童発達支援管理責任者。児童支援の分野は目まぐるしく展開されてきています。子ども基本法・児童福祉法等をもとに、一緒に考えていく研究会です。

〈5月・7月・9月・11月・1月・3月開催〉

〈予定内容〉乳幼児期～学齢期～成人期への支援を考える
児童発達支援管理責任者の役割を考える
これからの児童支援を考える
地域での子ども支援を考える などなど

4. 福祉従事者研究会

福祉に関わる職員（スタッフ）と共に支援者支援について考える研究会。

知的労働であり、感情労働でもある対人援助技術について考えていきます。支援者を支援する仕組みは？

しあわせ感を共有する支援ロジックの実践版研究会です。

〈4月・6月・8月・10月・12月・2月開催〉

5. 地域福祉研究会

これからの地域の在り方。

自分の地域を考える研究会。地域でいきいきと過ごすこと
地域の実情とこれからの街づくりについて。

誰とどこで住むのか……を考える。

6. なんでも研究会

さまざまな人が集まり、何でも話せるサロンのような場。毎回、その場に集まったメンバーによって、さまざまな課題を話し合い、研究していきます。

そこからヒントや新たな価値観が生まれるかも…

参加した人にしか得られないものをぜひ見つけに来て
ください。